

登山者向け携帯版

携帯電話通話可能ルートとラジオ受信状況



緊急時の連絡先

高山警察署	0577-32-0110
郡上警察署	0575-67-0110
高山市消防本部	0577-32-0119
郡上市消防本部	0575-67-0119

火山の異常を感じたら

気象庁火山監視・警報センター	0570-015-024
気象、火山に関する情報	
火山：気象庁火山監視・警報センター	03-6758-3900
気象：岐阜地方気象台（平日日中のみ）	058-271-4108

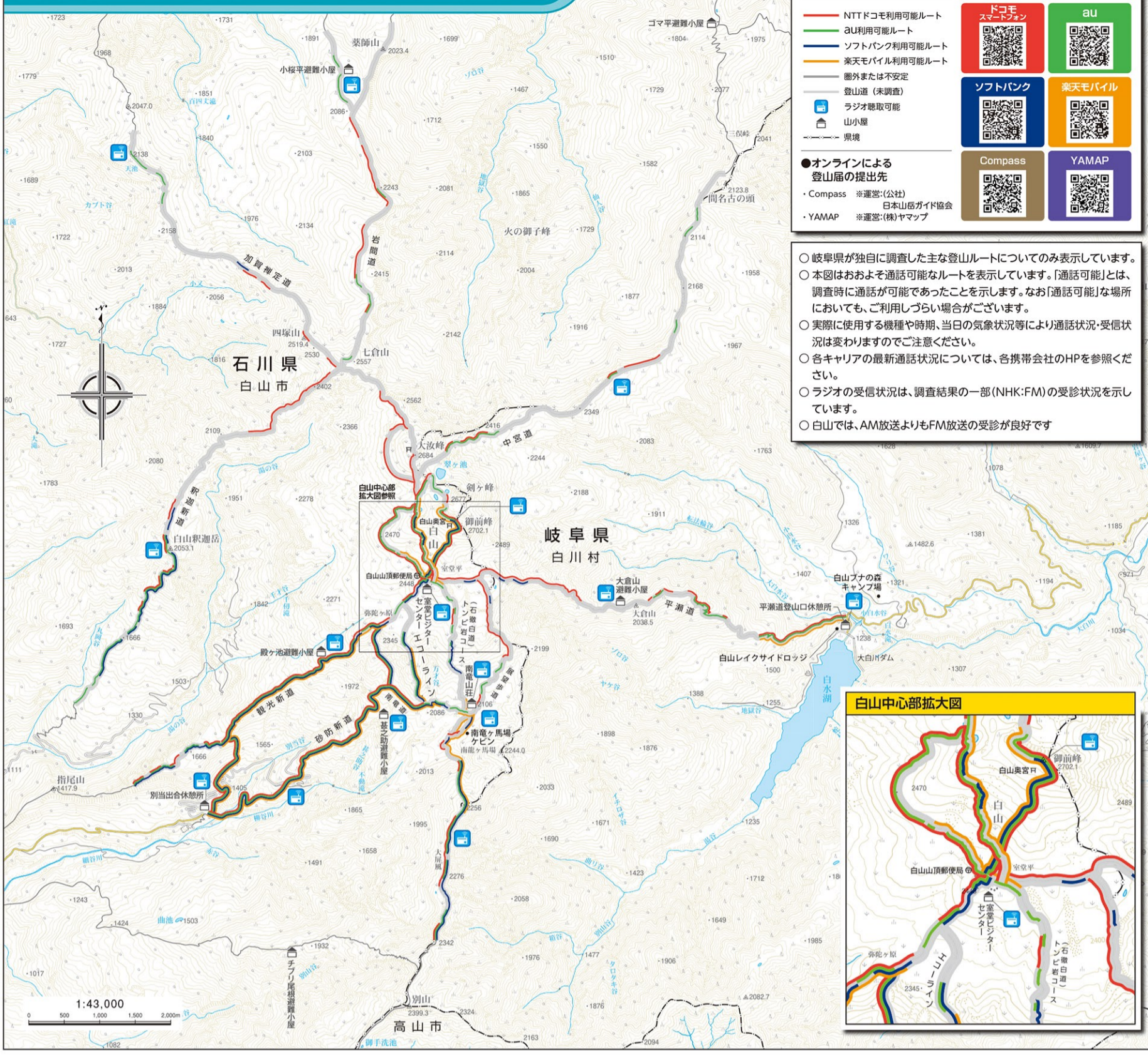
関連機関連絡先

岐阜県危機管理防災課	058-272-1131
岐阜県警察本部	0577-33-1111
白川村役場	05769-6-1311
白山山岳遭難対策協議会事務局	05769-6-1311
（お問い合わせ時間帯、平日の午前8時30分～午後5時15分まで）	
高山市役所	0577-32-3333
郡上市役所	0575-67-1121
高山地域救急医療情報センター（休日や夜間などの病気、怪我の時）	0577-34-3799
荘川診療所	05769-2-2009

観光情報など

白川村役場観光振興課	05769-6-1311
白川郷観光協会	05769-6-1013
高山市役所観光課	0577-35-3145
荘川観光協会	05769-2-2272
郡上市役所観光課	0575-67-1808
白鳥観光協会	0575-82-5900

※連絡先は令和6年3月時点の名称を記載しています。 令和6年3月発行



○岐阜県が独自に調査した主な登山ルートについてのみ表示しています。
 ○本図はおおよそ通話可能なルートを表示しています。「通話可能」とは、調査時に通話が可能であったことを示します。なお「通話可能」な場所においても、ご利用しづらい場合がございます。
 ○実際に使用する機種や時期、当日の気象状況等により通話状況・受信状況は変わりますのでご注意ください。
 ○各キャリアの最新通話状況については、各携帯会社のHPを参照ください。
 ○ラジオの受信状況は、調査結果の一部（NHK-FM）の受信状況を示しています。
 ○白山では、AM放送よりもFM放送の受信が良好です



噴火に備えて

白山は活火山です！
 過去1万年以内に噴火した火山および現在活発な噴気活動のある火山を「活火山」と定義しています。白山では、1554～56年の噴火で小規模な火砕流が発生しました。最近では、折形、山頂周辺直下を震源とする地震が一時的に活発化しています。噴火やそれに伴う危険に備えましょう。

白山の活動状況チェック！
 ・白山の噴火警戒レベル
 噴火警戒レベルとは、火山活動の状況を噴火時等の危険範囲や避難等の必要な防災対応に応じて5段階（レベル1～レベル5）に区分したものです。住民や登山者等に必要な防災対応が分かりやすいように、各区分にそれぞれ「活火山であることに留意」「火口周辺規制」「入山規制」「高齢者等避難」のキーワードをつけて警戒を呼びかけます。なお、レベルの段階に関わらず、気象庁からの情報には常に注意ください。

予報・警戒の名称	レベル・キーワード	登山者・入山者等への対応
噴火警報	レベル5：避難	危険な居住地域からの避難等が必要
	レベル4：高齢者等避難	警戒が必要な居住地域では高齢者等避難が必要。住民は避難の準備が必要
火口周辺警報	レベル3：入山規制	登山禁止や入山規制等危険な地域への立ち入り規制等
	レベル2：火口周辺規制	火口周辺への立ち入り規制等
噴火予報	レベル1：活火山であることに留意	状況に応じて火口内への立ち入り規制等

登山道の規制について
 噴火警戒レベルの引き上げに伴い、火口周辺の立ち入りを規制する場合があります。立ち入りが規制されている場所へは、絶対に入らないようにしましょう。

白山上空の風向き
 噴煙は風に吹かれて風下へ流れ、噴石や火山灰を降らせます。噴火した場合は上空の風向きをチェックしましょう。

災害を起こす主な火山現象

噴石
 噴火によって火口から吹き飛ばされる岩石。特に大きな噴石は落下距離が長く、避難するための時間がほとんどありません。また、破砕力が大きく、数km離れた場所まで被害が及ぶことがあります。

火砕流や火砕サージ
 噴火により放出された火山灰や噴石と火山ガスなどが混合し、斜面を流れ下る現象です。速さは時速100km以上、温度は数百度に達することもあり、大変危険です。火砕流に伴う火砕サージはより速方に到達します。

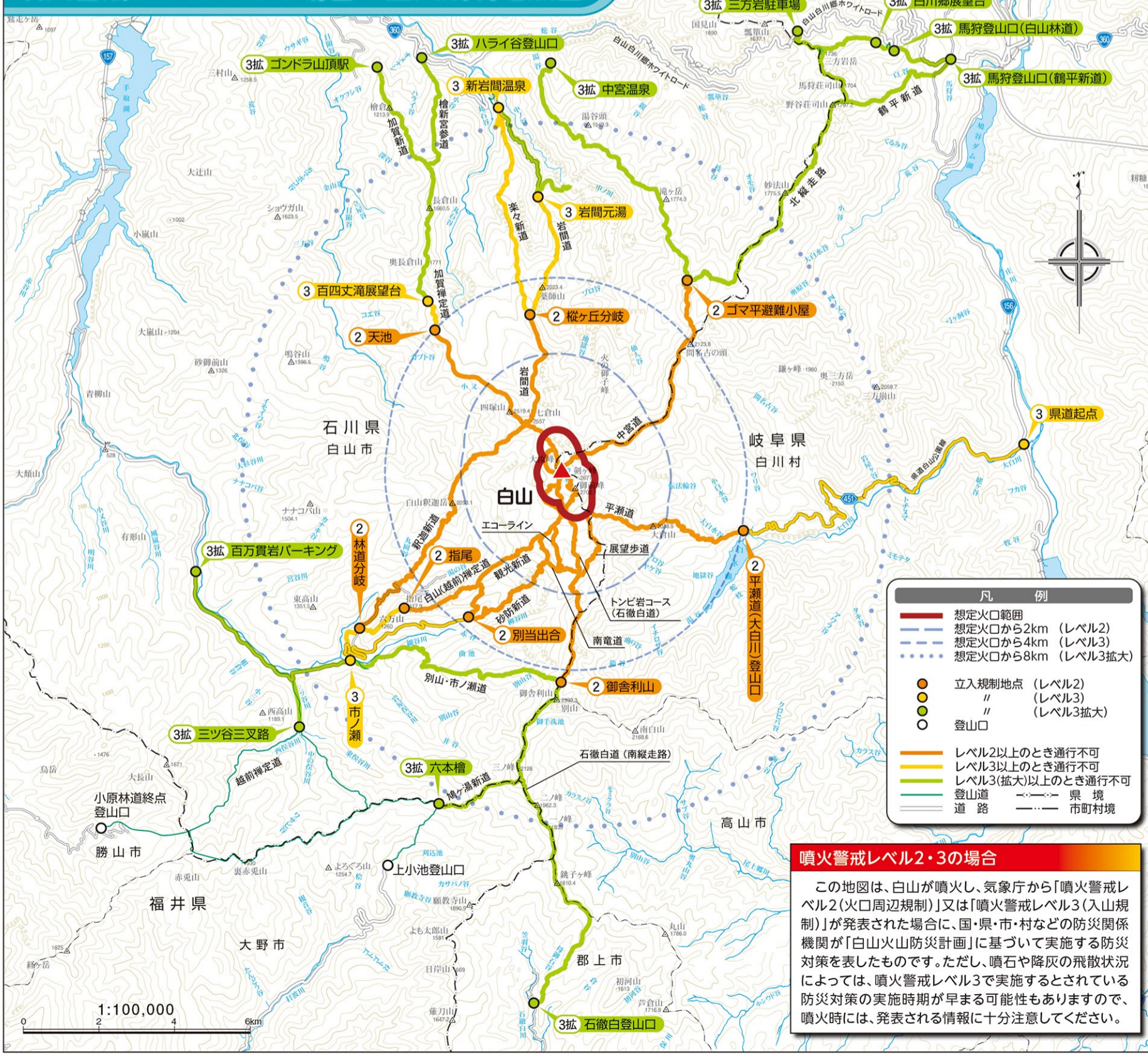
土石流
 斜面に厚く降り積もった火山灰や噴石が、雨の時に水と混じって谷などを勢よく流れ下る現象です。大雨の時は注意が必要です。

火山灰
 噴火によって噴き上げられた岩石のうち、比較的細かいもの。風によって火口から離れた広い範囲に拡散します。火山灰を大量に吸い込むと健康被害を及ぼす場合があります。火山灰が降ってきたらマスクが濡らしたハンカチなどで口と鼻をおおひまよう。目に入ったら、こすらずに洗い流しましょう。

火山ガス
 二酸化硫黄や硫化水素など有毒なガスが含まれています。規制場所には入らないでください。窪地や谷地形などに溜まりやすく、無風のときは特に注意が必要です。

空振
 噴火に伴う爆発によって生じる空気の振動。衝撃波が大気中に伝播する現象。火山に面した窓ガラスなどが割れる被害が生じることがあります。

噴火警戒レベル2・3の場合の立入規制地点図



凡 例

- 想定火口範囲
- 想定火口から2km（レベル2）
- 想定火口から4km（レベル3）
- 想定火口から8km（レベル3拡大）
- 立入規制地点（レベル2）
- 立入規制地点（レベル3）
- 立入規制地点（レベル3拡大）
- 登山道
- 道路
- 市町村境

噴火警戒レベル2・3の場合

この地図は、白山が噴火し、気象庁から「噴火警戒レベル2（火口周辺規制）」又は「噴火警戒レベル3（入山規制）」が発せられた場合に、国・県・市・村などの防災関係機関が「白山火山防災計画」に基づいて実施する防災対策を表したものです。ただし、噴石や降灰の飛散状況によっては、噴火警戒レベル3で実施するとされている防災対策の実施時期が早まる可能性もありますので、噴火時には、発表される情報に十分注意してください。